

水

水は、とても身近な存在でとても大事な物です。水がなければ、どんな生き物も生きていけません。水がある地球はすぐくめずらしい星です。

そんな水にぼくの住んでいるところ天川村は恵まれています。名水百選に選ばれた、「ごろごろ水」や「泉の森」「神泉洞」などきれいでおいしい地下水がわき出ています。ごろごろ水は、わざわざお金をはらってでもいろいろなところから水をくみに毎年たくさんの人が来ます。とても冷えていておいしいです。ぼくの住んでいる村では、水道水もふつうに飲めます。それがぼくはあたり前のことだと思っていました。でも先生が、「都会のほうじゃ、水道水には、カルキがたっぷり入っていてふつうに飲んだらちよっとくさいんやで。天川村は、水に恵まれている

天川村立洞川中学校 一年

植田 大喜

んやで。」
と言いました。ぼくは、えっと思いました。ぼくは、初めてそんなことを知りました。僕も高校へ行ってたぶん寮へ入ると思うけれど、もし水がきたなかつたらどうしようと思いましたが。お風呂に入って体をきれいにしなくちゃいけないし、トイレで水を流さなくちゃいけないし、服を洗わなくてはいけないし、ご飯を食べた後、食器を洗わなくてはなりません。そんな水がきたなかつたらどうしようと思ってしまう。ぼくは、水がきれいなのと、生まれてよかつたと思います。でもこのまま人間が水を使っていると水が汚されてしまいます。昔は、工場からの排水で問題になっていました。今の日本は、だいたいよぶだけだけれど外国では、今でもすごい汚れた水が出ていたりする国もあります。ぼくは、

そんな外国の水を見てびっくりしました。あの国の水は、これは、飲んだらやばいんじゃないかと思いました。なんと水道から出た水は、茶色だったのです。それを見て、ぼくは、「うそやろ。」

と思いました。ぼくの家でも台風や大雨の後には、ほんの少しだけは、にごります。お風呂に入れてちよつとにごっているのが分かるぐらいです。でもその国の水は、洗面器に入れるとすごい茶色なのです。ぼくは、こんな水をどう使うのかと思いました。そして次に見たものは、言葉を失ってしまっただけでした。なんと水の中には赤い棒のような寄生虫が、ウジャウジャしていました。ぼくは、本当にこれが水道から出たのかなと思いました。それは、まぎれもなく水道から出ていました。こんな水をどうするかと思いました。寄生虫のいる水なんて飲むとどうなるか分かりません。その国の人たちに日本のきれいな水を飲ませてあげたいです。

ぼくは、水の作文を書く前と書いた後では、水に対するありがたみが変わりました。外国の人があんな水を飲んでいたなんて初めて知

ったし、日本でも都会では、水がおいしくな
いなんて初めて知りました。本当にぼくの生
まれた天川村は、水に恵まれていたなあと思
いました。どこでもおいしくきれいな水が飲
める美しい地球になってほしいです。